



●図2 なぜこれまでSLYMは発見されなかったのか (© University of Copenhagen)
 脳の観察では通常、頭蓋骨を切り開くため、脳の外側の髄膜も取り除かれ、SLYMは簡単に引き裂かれてしまう。脳と周囲の構造をありのまま保存して観察することが新たな発見につながった。

つまり、SLYMはヒトの脳も取り囲んでいることが示されたのである。

2つ目は「なぜいま発見されたのか」。脳の観察は通常、頭蓋骨を切り開くことから始められる。頭蓋骨を開くと脳の外側の髄膜も一緒に取り除かれ、非常に薄いSLYMは簡単に引き裂かれてしまう(図2)。今回は脳と周囲の構造をありのまま保存して観察することで、4番目の層が見えるようになったのだ。

この研究は、何世紀も研究されてきた脳の構造物に最先端の技術を適用することで、新たな光が当てられることを例証している。同時に、未知の構造や機能が眠っている可能性も示唆している。身近な愁訴である頭痛や、説明が十分につかない難病などにも、SLYMのような構造や機能が関与している可能性がある。技術の向上や科学の進歩に加え、トランスレーショナル・学際的な研究で新しい研究や知見を見いだすことの重要性が増すことは明白である。

*

「科学における1つの発見は、10の新しい疑問を湧き上がらせる」とネーダーガード教授は言う。「それは素晴らしいことだ」とも。

SLYMの発見はこの研究領域においての始まりに過ぎない。髄膜リンパ管のネットワークがCSFをどのように排出しているのか、それがヒトの病気にもどのような意味をなすのかについて、我々は研究を進めている。今回の発見は、中枢神経系の恒常性における髄膜やCSF、ひいてはグリンパティックシステムの役割についても新しい視点を与える。同時に、中枢神経系と免疫の相互作用や、薬物送達を目的とした治療法の設計に役立つ可能性も秘めている⁹⁾。現在、我々の研究室では、多くの脳疾患にSLYMが関与している可能性を念頭に置き、さまざまな神経疾患モデルを用いてSLYM障害の影響を解明する研究を行い、疾患メカニズムの新たな知見を探索している。

●参考文献

- 1) Science. 2023 [PMID : 36603070]
- 2) Sci Transl Med. 2012 [PMID : 22896675]
- 3) Science. 2013 [PMID : 24136970]
- 4) Science. 2020 [PMID : 33004510]
- 5) J Exp Med. 2015 [PMID : 26077718]
- 6) Nature. 2015 [PMID : 26030524]
- 7) Kurume Med J. 2002 [PMID : 12652968]
- 8) Lancet Neurol. 2018 [PMID : 30353860]
- 9) Nat Rev Drug Discov. 2022 [PMID : 35948785]

祝点

法制化されたドイツの現状から内密出産を考察する



Tobias Bauer 熊本大学大学院人文社会科学部 教授

2019年12月に熊本県熊本市の慈恵病院が「内密出産」の実施を表明した。慈恵病院における内密出産は、妊娠を知られたいくない女性が病院内の相談室のみに実名を明かした上で出産し、子どもが一定の年齢になれば産みの母の実名を閲覧できるというものである。

慈恵病院の取り組みのモデルとされているドイツでは、出自を知る権利の侵害や孤立出産の問題を抱える赤ちゃんポストの代替策として内密出産を法制化した。内密出産導入時の14年5月から全国規模で月平均約10件の内密出産が行われている(23年1月末までの総件数は1044件)。

熊本市や専門家が国に法整備と制度設計を求める中、慈恵病院では21年12月に独自のルールにのっとった国内初の内密出産が行われ、国は22年9月にガイドラインを示した¹⁾。これにより内密出産の存在が国内で容認され、その手順と医療機関と行政の連携の在り方等がある程度明確にされたものの、母親の身元情報の管理や費用負担について「医療機関任せ」という批判的な声があるように、残る課題は少なくない。

このような中で、先行するドイツの制度が本邦における内密出産、とりわけ内密出産時の医療機関の役割をめぐって今後の議論にどのような点で参考になり得るだろうか。

◆妊娠相談所の役割と母子支援における内密出産の位置づけ

本邦のガイドラインでは医療機関が中核的役割を担うことが想定されているが、ドイツの内密出産制度では全国に1600か所以上ある妊娠相談所が中核となっている。内密出産の導入以前から存在する妊娠相談所では、専門性の高い相談員への相談を匿名かつ無料で気軽に行える。相談員は幅広い支援策を基に、妊娠に悩む女性と共に解決の道を探る。内密出産はさまざまな支援制度の中の最終手段として位置づけられているため、内密出産に至るケースはごく一部に過ぎない。

◆身元情報の管理

本邦のガイドラインでは、身元情報の管理は受け入れ先医療機関に一任された。一方ドイツでは、内密出産に決めた場合、妊婦は妊娠相談所のみ実名を明かし、どの医療機関でも仮名で出産することができる。同時に子どもの出自を知る権利は国が保障すべき重要な法益と認識されているため、内密出産における「出自証明書」は公的機関が管理し、子どもが16歳になれば閲覧でき、閲覧に対する産みの母の異議申し立て権等についても法制化されている。

◆内密出産の費用負担

匿名性を保障するために健康保険を使用できないことが内密出産の特徴であるため、ドイツでは妊娠・出産・産後にかかる医療費は国が負担するよう定められている。本邦のガイドラインでは費用負担について触れられておらず、慈恵病院における内密出産では病院が費用を負担している。今後受け入れを検討する医療機関にとって、費用面の負担は大きなハードルの一つと考えられる。

*

今後本邦で母子救済の最後の手段としての内密出産を展開していくため、今回のガイドラインを皮切りに、上述した3つの視点を参考に法制化を含む支援のさらなる拡充への議論に期待したい。

●参考文献・URL

- 1) 厚生省, 他. 妊婦がその身元情報を医療機関の一部の者のみに明らかにして出産したときの取扱いについて. 2022. <https://www.mhlw.go.jp/content/000995585.pdf>

●トビアス・パウアー氏/2004年に独ミュンヘン大大学院博士課程単位取得退学後、同年に熊本大文学部専任講師として着任。23年より現職。九大文学部で内地研究員、ミュンヘン大医学部で客員研究員等も務めた。専門は生命倫理、ドイツ文化論。厚生労働省の委託により内密出産等に関する海外の法・制度に関する調査研究事業(18・19年度)の委員を務めた。

医療者が知っておきたいがんのキホン知識を、マンガ家ドクターがわかりやすく解説!

医学書院

マンガで学ぶ!
 がんのキホン

近藤 慎太郎

「がんはどうして生じるの?」「がんの定義って?」「がんは遺伝する?」「標準治療よりも「スゴい治療」があるの?」「がん検診ってどれくらい意味があるの?」——患者さんからこれらの質問を受けたときに、皆さんは自信をもって説明できるでしょうか? 私たちにとって最も身近な病気の1つであるがん。医療者が知っておきたいその基本知識を60のトピックスにまとめ、マンガや図表とともにとことんわかりやすく学べる1冊!



- 目次
- PART1 がんのデータを見る
 - PART2 がんの原因を知る
 - PART3 がんを見つける
 - PART4 がんを治療する
 - PART5 がんの終末期に取り組む



●A5 2023年 頁240 定価2,420円(本体2,200円+税10%) [ISBN978-4-260-05110-1]

慢性痛のサイエンス

脳からみた痛みの機序と治療戦略 第2版

半場 道子

「痛みの定義」の改訂、Nociplastic Pain(「痛覚変調性疼痛」)の定義といった、国際的な潮流を反映して全面改訂。慢性痛のメカニズムを脳科学的視点から丁寧に解き明かす。第7章「神経変性疾患と慢性炎症」では慢性痛を訴える難病患者の脳を、8章「腸の痛み、腸と脳の連関」では腸が脳に与える影響といった、慢性痛のミッシングピースを大胆に考察して大幅加筆。慢性痛患者に携わるすべての医療者必読の書。



- 目次
- 第1章 慢性痛とは何か
 - 第2章 慢性痛のメカニズム
 - 第3章 侵害受容性の慢性痛
 - 第4章 神経障害性の慢性痛
 - 第5章 痛覚変調性の慢性痛
 - 第6章 慢性痛の治療法
 - 第7章 神経変性疾患と慢性炎症
 - 第8章 腸の痛み、腸と脳の連関
 - 終章

書籍の詳細はこちら



●A5 2023年 頁296 定価:3,960円(本体3,600円+税10%) [ISBN978-4-260-05076-0]

医学書院

慢性痛のメカニズムを解き明かす。国際的潮流を踏まえた最新版